

## 平成30年度県営林年度実施計画の達成状況について

## 1 概要

平成30年度県営林事業は、平成30年7月豪雨災害の影響により主伐及び間伐の事業量は減少したものの、利用間伐における生産性の向上や木材価格の動向を踏まえた有利販売に取り組み、利用間伐や立木販売の売上高の確保に努めた結果、目標とする経常利益を3年連続で確保した。

## 2 実施状況（経営改善の取組）

(1) 生産性の向上【目標 8.0 m<sup>3</sup>/人・日 ⇒ 実績 10.2 m<sup>3</sup>/人・日】

効率的な伐採技術など木材生産技術の向上に取り組むとともに、事業を早期に発注し、積雪期を避けた工期を確保した結果、作業が効率化され、目標を達成した。

## (2) 直接協定取引の導入【目標 40% ⇒ 実績 96%】

直接協定取引については、県内の製材工場や集出荷施設との取引が定着するとともに、既存の木材市場に直接協定取引を働きかけた結果、取引量が増加し、目標を大きく上回った。

区 分		計 画		実 績		増 減
		材 積	割 合	材 積	割 合	材 積
請負事業	直接協定取引	8,610 m <sup>3</sup>	40 %	16,658 m <sup>3</sup>	96 %	8,048 m <sup>3</sup>
	市場等取引	12,915 m <sup>3</sup>	60 %	646 m <sup>3</sup>	4 %	▲ 12,269 m <sup>3</sup>
計		21,525 m <sup>3</sup>	—	17,304 m <sup>3</sup>	—	▲ 4,221 m <sup>3</sup>

(3) 素材生産量【目標 50,800 m<sup>3</sup> ⇒ 実績 45,200 m<sup>3</sup>】

豪雨災害の影響により県営林にアクセスするための林道等が通行止めとなったため、利用間伐及び立木販売（主伐）の一部を中止するとともに、請負事業（主伐）の実施をとりやめた。その結果、事業面積の減少に伴い、素材生産量は計画を下回った。

バイオマス材は、発電の燃料としての需要が増えたため、計画を上回った。

区 分		計 画		実 績		増 減	
		面 積	材 積	面 積	材 積	面 積	材 積
請負事業	利用間伐	285 ha	18,525 m <sup>3</sup>	251 ha	17,304 m <sup>3</sup>	▲ 34 ha	▲ 1,221 m <sup>3</sup>
	主 伐	10 ha	3,000 m <sup>3</sup>	0 ha	0 m <sup>3</sup>	▲ 10 ha	▲ 3,000 m <sup>3</sup>
立木販売(主伐)		100 ha	25,000 m <sup>3</sup>	49 ha	17,874 m <sup>3</sup>	▲ 51 ha	▲ 7,126 m <sup>3</sup>
計		395 ha	46,525 m <sup>3</sup>	300 ha	35,178 m <sup>3</sup>	▲ 95 ha	▲ 11,347 m <sup>3</sup>
バイオマス材		—	4,275 m <sup>3</sup>	—	10,022 m <sup>3</sup>	—	5,747 m <sup>3</sup>
合 計		395 ha	50,800 m <sup>3</sup>	300 ha	45,200 m <sup>3</sup>	▲ 95 ha	▲ 5,600 m <sup>3</sup>

### 3 収支計画と実績

災害の発生に伴い主伐・間伐事業量は減少したものの、売上高の確保に努めるとともに、生産原価や流通経費を縮減した結果、目標とする経常利益を確保した。

(単位：千円)

区分	項目	計画(A)	実績(B)	増減(B-A)	備考(主な増減理由)	
木材生産	①売上高	請負事業	281,454	256,405	▲ 25,049	請負事業(主伐)の中止による減
		立木販売	97,200	95,364	▲ 1,836	立木販売(主伐)事業量の減
		計	378,654	351,769	▲ 26,885	
	②生産原価	263,887	218,079	▲ 45,808	事業量の減少及び生産性の向上による生産原価の減	
	③販売管理費	172,034	159,619	▲ 12,415	事業量の減少及び直接協定取引の増加による流通経費の減	
	④営業利益	▲ 57,267	▲ 25,929	31,338	①-②-③	
	⑤営業外収益	197,633	213,810	16,177	分収金(H29)の増加に伴う前年度繰越金の増	
	⑥営業外費用	80,157	111,986	31,829	分収金(H29, H30)の増	
	⑦経常利益	60,209	75,895	15,686	④+⑤-⑥	
	保育	⑧販売管理費	64,748	62,478	▲ 2,270	保育事業量の減
		⑨営業外収益	21,824	16,375	▲ 5,449	保育事業量の減少による国庫補助金の減
⑩営業外費用		5,082	5,080	▲ 2	立木補償に係る分収金の減	
⑪経常利益		▲ 48,006	▲ 51,183	▲ 3,177	⑨-⑧-⑩	
⑫経常利益 計		12,203	24,712	12,509	⑦+⑪	
⑬特別損失		165,446	162,380	▲ 3,066	職員給与費の確定による減	
⑭純利益		▲ 153,243	▲ 137,668	15,575	⑫-⑬ 一般会計からの繰入必要額	

### 4 分収造林事業の経営改革に伴う一般会計の負担

平成30年度は、県営林特別会計への繰出金138百万円と第三セクター等改革推進債償還金1,302百万円を一般会計から支出した。

(単位：百万円)

区分	年度				備考
	H25	H26~H29	H30	累計	
県営林特別会計への繰出金	—	687	138	825	⑭純利益の赤字について、一般会計で補填
第三セクター等改革推進債償還額	—	5,238	1,302	6,540	償還期間：H26~H35 償還予定額：13,001百万円
県債権放棄額	33,264	—	—	33,264	旧(一財)広島県農林振興センターの民事再生に伴う債権放棄

### 5 貸借対照表

固定資産は、森林資産が8百万円増加して5,575百万円となった。固定負債は、118百万円減少して1,312百万円となった。純資産は、122百万円増加して4,150百万円となった。

(単位：百万円)

平成29年度決算				平成30年度決算見込			
流動資産	59	流動負債	168	流動資産	76	流動負債	189
固定資産	5,567	固定負債	1,430	固定資産	5,575	固定負債	1,312
〔森林資産 3,478〕		純資産	4,028	〔森林資産 3,486〕		純資産	4,150
〔土地 2,089〕				〔土地 2,089〕			
計	5,626	計	5,626	計	5,651	計	5,651